

# ふかまちのまど

第八十八号 二〇〇一年九月日  
発行元 深町町内会連合会  
通称所 四六三―三三三七

## 「カワセミ」

元小笠原 小林龍一郎

日照りが続く川を見ながら強い夕立を待ち望む。「幻の鳥」だとばかり思っていたカワセミの飛ぶ姿を校庭の小鳥小屋付近で見た。その感動を伝えたくて、そこいらの子どもたちに言った。「見たぞ、見た見た。カワセミがいた。いたぞカワセミが。」目の前の子どもたちはキョトンとしていた。もう一群の子どもたちにも言う。

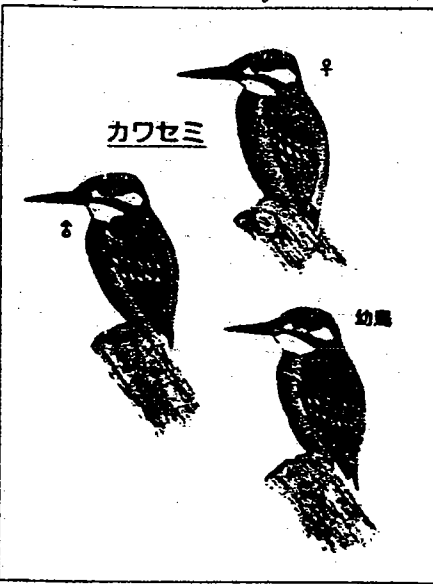
「おい！学校の前の川にカワセミがいたぞ。すごいな！」それを聞いた子どもたちは、私の顔を見て不思議そうな表情をして無言。「どうも子どもと波長があっているな」と感じながら校舎に入る。

それでも発見を伝えたくて、玄関水槽の前にいた腕白をつかまえて再度挑戦した。すると、カワセミの仲間が世界の中で約

カワセミ  
ホバリング



る姿を見せてくれる。カワセミの仲間が世界の中で約



カワセミ

幼鳥

90種、温帯のいたるところで健在らしい。留鳥で足は短く、くちばしは長くて強い。魚やカニ、トカゲ、カエル、ネズミなどを捕食する。水場からそう遠くない土のうけなどに穴を掘り、巣を作る。群生はしない。漢字で「翡翠」と書く。背中の鮮やかな群青色・空色

を表現している。のどろう。空飛ぶ宝石。二清流の宝石。二水辺の宝石」といわれる。所以である。英名は「Common Kingfisher」。

## 有り難うございました

如水館高校野球部同好会 会長 西本一二三



如水館高校、甲子園出場にあたり、町内の皆様に多大なご支援をいただきましたこと、如水館高校野球部、深町後援会より厚くお礼申し上げます。

如水館高校野球部は、いつかあの真紅の優勝旗を深町に持ち帰るべく頑張っています。今後共々ご支援下さいますようお願い申し上げます。有り難うございました。



また、猛暑の中、町民の皆様には、応援のため、多数甲子園にかけつけていただきましたこと、重ねてお礼申し上げます。

護施設、サンライズ大池を慰安訪問しました。各地からお出での方を偲んで懐かしかったです。なにしる戦後しばらくまで

## 訪問 太鼓踊り

毎年、八月十五日は、深町壮青会のみなさんが、伝統の太鼓踊りを町内旧跡や、希望される町内の宅で披露し、喜んでもらっています。

踊りは地方振興の本命だったのですから……

## 鍛えられひとは伸びる

編者 H

スポーツ選手の記録への挑戦は、同時に「自分への挑戦」であるに違いない。子どもの過保護が云々されて久しい。家庭、学校で鍛える教育がなされているだろうか。「グローバルスタンダード」という名の「経済戦争」に生き残るには、鼻先一寸が勝負。個人能力を高める事。甘えは否。

## 展望 席

企業トップや役所人事が膠着する主な原因は、「叙勲」という言葉を耳にする。確かに何を成したかより、何年在職したかのウエイトが高いように思う。特に公務員社会では改革を伴う大胆な発想はタブー視されている。(北海道 完全無名) 何種類かの新聞・月刊誌に目を通しているが、これだけの情報量がこの価格で入手できることは有難い。新聞一カ月で三千元余、雑誌一冊が千円以下、それを拾い読みしている訳だが、考えさせられることが多い。我々には到底入手できない情報は貴重である。報道された外務省の公金詐欺事件は大きなショックだった。これは個人(野郎)とは思えない。昨年行なわれた九州沖繩サミットに要した費用の総額が八〇〇億円と報じられた。これが高いか安いのか判断は分れて当然だが、費用対効果も一つの判断基準にはなる。一部には返上論もあると聞く。サミットを提案したのはフランス大統領だったと記憶しているが、当時と現在では世界情勢も大きく変わった。開催理念は失せ、お祭りとなった。開催の評は酷か。月刊誌八月合で、「あの稲葉興作・石橋相談役の役員退職金は何と二〇億円！」という記事を読んだ。昭和二十四年、取締役を連任されて以来、今年で三〇年を迎えるのだそう。初めに書いた人事の膠着は叙勲に加え、この退職金も無関係ではあるまい。

謹んでお悔み申し上げます

★西 昌弘様 65歳 八月九日

深町各種団体九月行事予定

- ◆小学校(幼)
  - 始業式・大掃除 一日
  - 給食開始 二日
  - チャレンスタイム 三日
  - 弁当始め 四日
  - チャレンスタイム 五日
  - チャレンスタイム 六日
  - 貯金日 七日
  - 体位測定(幼) 八日
  - チャレンスタイム 九日
  - 体位測定 十日
  - チャレンスタイム 十一日
  - 祖父母参観日 十二日
  - 運動会 十三日
- ◆町内会連合会 三〇日
- ◆町民運動会 三〇日
- ◆女性会
  - 親睦会 上六日 中五日 下九日

昼下がり 油餅等(ら)も 寝(い)ねにけり 西田麦歌 (元疎開児童)

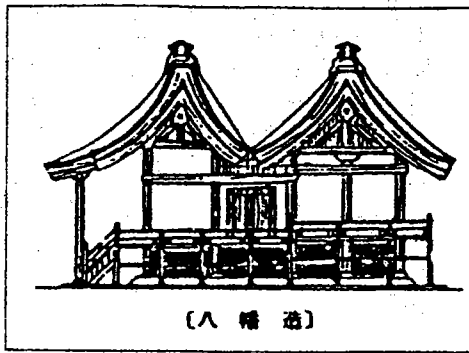
# 深町歴史散策

(11)

千川神社(深八幡宮)

高崎 壽郎

源氏を中心とする関東武士団が、武神として八幡を信仰したことから、関東武士の勢力が拡大する鎌倉時代に入ると、八幡宮が各地に勧請され八幡信仰が全国に普及していった。



(八幡造)

三島神とは、愛媛県大三島の大山祇神のことで、深島の先祖(深は大三島の人)が拓いたといわれているが、信仰したもので、祭神になっていくのもわかる。氏神八幡宮は、村ごとにある身近な神社であった。出産、結婚、病氣など人々は何かにつけ「神様のご加護」を祈った。

特に戦時中は、家族や地域でも、武運長久を祈っての八社参り(八ヶ所の八幡宮を廻る)や、五穀豊饒祈願などで、お宮へ参詣することが多かった。児童も、新年拝賀式(四方拝)紀元節、天長節、神嘗祭、明治節、大詔奉戴日(毎月八日)など、皇室の行事に合わせてお参りしていた。うさぎとされた参道の並木を左右にみながらお参りすると、なにか神々しさを感じたものである。住民も八幡宮を心の拠り所にしてきたことがよくわかる。社殿の前には、文政八年(一八二五年)の立派な一対の狛犬がある。歌舞伎芝居奉納額がある。今から約百年前のものだが芝居が盛んなところだったことがわかる。

六歌仙絵馬が入ると鴨居の所に、三社にこんな絵馬があるのもめずらしい。

以前は毎年十月十七日(神嘗祭)に氏神祭(秋祭り)が行われ、村民こそ参詣し夜おそくまで境内は賑わっていた。又、翌日が小学校の運動会ときまつていたもので、旅へ出ていた者は帰省し、娯楽の少なかつた当時の秋の二日間を楽しみに過ごしたものである。現在、十月の第三土曜日が祭りにきまり、神楽を奉納して

いるが、以前と比べ、お詣りする人は少ない。これは新発見であるが、参道には変わった葉の形をしたイチウの木がある。尚、今夏二年ぶり四回目の子園行きをきめた如水館野球部は、県大会予選の試合日の朝、千川神社(八幡宮)に、選手全員でお詣りし必勝祈願をした。▲

## すずしかった「たき」

栗安藤 千晶

今日、たきに行きました。かげの場しよとくにすずしかったです。よくこんなに木はひやす力があるなあと、おもいました。自分せんようのプールをつくりました。楽しかったです。



## 参議院選深町地区投票結果(7月29日)

区分	有権者	投票者	投票率%
男性	414	230	55.6%
女性	467	229	49.0%
計	881	459	52.1%
不在者投票を含めた投票率			61.6%
三原市全体の投票率			65.3%

## 第53回三原市民体育大会のご案内

町内連合会事務局 広川弘之

今年度も下記行程で、三原市民体育大会が開催されます。例年選手の人選で手間どり、成績も下位で低迷しています。(昨年度は3位)今年度は、上位成績をめざして早めに対処していきたく思います。

それぞれの種目で自薦、他薦は問いません。又、グループでの出場も歓迎しますので是非各講(班)の体育委員が広川までご連絡下さい。

開催日時	平成一三年一〇月一四日 午前九時〜午後三時
開催場所	三原市運動公園 陸上競技場

No	種目	出場者	性別	出場者数
1	小学生混合リレー	小学生	男女	各3人
2	ビーチボール蹴り	40歳以上	女	4人
3	400mリレー	中学生	女	4人
4	ラグビーボール蹴り	50歳以上	男	5人
5	400mリレー	中学生	男	4人
6	テートボール・グランドゴルフ競争	60歳以上	男女	各4人
7	400mリレー	20歳未満・20歳以上	男	各2人
8	400mリレー	30歳以上・40歳以上	男	各2人
9	ドリブル競争	小学生	男女	各3人
10	1500m(オーブン組)	中学生以上	男女	オープン
11	400mリレー	50歳以上	男	4人
昼食休憩				
12	紅白玉入れ	年齢制限なし	男女	各10人
13	縄跳びトラック競争	男30歳以上・女20歳以上	男女	各8人
14	ポーリング競争	30歳以上	女	8人
15	二人三脚むかで競争	男30歳以上・女20歳以上	男女	各7人
16	総合リレー	小学生~60歳以上	男女	各20人

## 町内会連合会活動報告

町内会連合会 事務局長

盆行事実施  
八月十五日(水)、恒例の盆行事を次の内容で行ないました。本年はカラオケの代わりに、花火とやっさ踊りを初めて行ないました。又、ビンゴゲームの景品も

予算増で充実させました。

一、太鼓踊り  
午前十時から壮育会により、炎暑の中で下組を始めに町内各所で打って廻りました。午後六時半から千川神社へ奉納し、小学校でも大勢の参加者に披露されました。

午後七時開始予定でしたが明るさが残り、少し遅らせました。打上げ、吹上げ、仕掛と多彩に上組が担当して行ないました。

三、主催者挨拶・黙祷  
梶谷町内会連合会長が、全員揃って楽しい盆踊りを、と呼びかけました。その後、新仏の九人の霊に黙祷を捧げました。

二、花火

盆行事実施  
八月十五日(水)、恒例の盆行事を次の内容で行ないました。本年はカラオケの代わりに、花火とやっさ踊りを初めて行ないました。又、ビンゴゲームの景品も



四、手踊り  
例年どおり二つ拍子、三つ拍子、伊勢音頭を踊りました。今年、踊りの輪が久しぶりに二重になり、内側のベテランに習って初めての人も大勢参加されました。

五、やっさ踊り  
盆行事としては初めての試みですが、踊りの輪が一部で途切れる状態でした。踊り手の増加が期待されます。

六、ビンゴゲーム  
一等の折畳み自転車を始めとして約三〇個を揃えた景品が品切れになる程の盛り上がりしました。景品を手にするこの出来なかつた方々にお詫びします。中組の担当でした。

七、閉会の挨拶  
町内会連合会西本副会長から多数の参加に感謝し、今後の協力をお願いしました。

八、反省会  
後片付の後、役員を中心に準備、実施状況と問題点等について意見交換しました。各項目の実施担当者や、駐車場管理担当の下組役員、それに若手からも沢山の意見が出され、この熱気が来年に活かされるものと力強く感じました。

本年は、まず盛会の中に終ることが出来ました。来年も参加者全員が踊り狂う楽しいものになる様に願っています。大勢の参加をお待ちしています。又、早朝から深夜まで準備・片付にご協力を頂いた小学校・役員関係者に厚くお礼申し上げます。

高崎 修